毎週 火曜日・金曜日(祝祭日に当たるときは翌日発行)

発行人 大

分

県 編集 三恵印刷株式会社

(定価 箇年 三万八千八百八十円)

に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を縦覧に供する。 次のとおり特定施設の設置の許可申請があった。 瀬戸内海環境保全特別措置法による特定施設の設置許可申請………………………………… 大分県告示第三百十八号 3 2 なお、次のとおり当該特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果 瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和四十八年法律第百十号)第五条第一項の規定により、 1 申請の概要 百 令和七年八月一日 設置される特定施設の種類 特定事業場の所在地及び名称 東京都港区港南二丁目十六番一号品川イーストワンタワー 申請者の住所及び名称並びにその代表者の氏名 大分県由布市湯布院町川上字平原二百九十八番一、二百九十九番一、三百一番三、 一番六、三百五番九、三百五番十 大東建託株式会社 (仮称) 由布院ホテル新築工事 代表取締役 目 公告 竹 内 示 次 示 大分県知事 佐 第 令 藤 六三〇 月 和 七 樹 号 年 日 郎 金 曜 日) \equiv 状態 汚染 等の 汚水 0) 工 能 種 汚 使 使 使 工 工 能 種 値 水等 日 イ 事 事 事 用 用 大 浮 ŋ 窒 化 生物化学的酸素要求量 水 項 水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一第六十六号の三 用 ちゆう房施設、ロ 0) 当 学 開 完 着 着 素 0) h 素 遊 的 た 腸 イ 日当たり 手 始 成 手 時 酸 季 ŋ オ 含 含 物 予 予 予 予 素 ン 菌 0 節 要 間 有 質 有 定 定 定 定 濃 使 求 0) 的 年 年 数 量 量 量 量 度 目 量 年 年 用 洗濯施設、 間 変 mg 単 単 月 月 月 CFU mg mg 月 mg mg m³ 時 / L L 動 力 間 隔 日 日 日 力 日 類 Ĺ Ĺ Ĺ 日 mL 位 位 ハ 入浴施設及び第七十二号 八 kg なし 連続 四〇〇 ちゅう房施設 洗濯施設 令九・三 令七・九 令七・九 令八・一一 一四時間 五・八~八・六 回 100 八〇〇以下 00 通常の値 六〇 通常の値 食/日 Ŧi. 七基 上旬 上旬 上旬 六・〇 Ŧī. 下旬 し尿処理施設 五・八~八・六 100 八〇〇以下 00 六〇 最大の値 最大の値 <u>F</u>i. 八・〇 Ŧī.

令和七年八月一日

大分県報 (告示)

日
7

	能						種				の 値	状 注態 並	手 等	活			Ť	号 k	使	_	使	使	エ	
									大	b	窒	浮	化学		水素	項	<u>\$</u>	汚k〜り一日当こりの	用	当	用	用開	事完	
									腸	ん 会	素	遊物	的酸	化学的	イ		- -	_ ∃ 以	の季	たり	時	始	成	
									菌	含有	含有	質	素要	生物化学的酸素要求量	オン		= 7	ョ さ)	節	0	間	予定	予定	
									数	量	量	量	求 量	求量	濃度	目	1	り 計	的	使用	間	年	年	
	力						類		CFU / mL	mg / L	mg / L	mg / L	mg / L	mg / L		単位	m³ / 日	単位	変動	時間	隔	月日	月日	
7	6	5	4	3	2	1	入浴施設								五			,,,,	なし	八時間	間欠	令九	令八・一一	-
〇 七 四 ㎡	一 · 四 m³	〇 · 八 五 ㎡	五七㎡	〇 · 四 八 ㎡		四 • 一 ㎡	心		八〇〇以下	五	五〇	一六〇	100	1100	五・八~八・六	通常の値	五.	通常の値		IEJ		・三 上旬	一一下旬	令和七年八月一日
二基	基	八基	一〇基	八基	基	基																		月一日
									八〇〇以下	五.	五〇	一六〇	100	1100	五・八~八・六	最大の値	六・〇	最大の値						
						の	7 (1 ~	<u> </u> 汚					使	_	使	使	工	工					
									-1/-															
水	項					水量	8 (8 (9 kg)	6) (3) 2 (5)	水 等 の					用用	日当	用	用開	事	事					大
素イ	項					水 量 を	(7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	3はし人	水等の一日当						当た	用時	開始	事完成	事着手					大分県報
素イオン	項					水量を記載	8 (8 (8 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4	53 3 5 は八基分	水等の一日当たり					用の	当たりの		開始予	事完成予	事着					
素イオ	目					を 記 載	は二基分	は八基分	日当たりの					用の季節的	当たりの使用	時	開始予定年	事完成予定年	事着手予定年					大分県報(告示)
素イオン濃	目単					を 記 載	は二基分が	は八基分	日当たりの				単位	用の季節	当たりの使	時間	開始予定	事完成予定	事着手予定					
素イオン濃	目	11)	10	9	8	を 記 載	は二基分	は八基分	日当たりの	3	2	1	単位	用の季節的変	当たりの使用時間	時間間	開始予定年月日令九	事完成予定年月	事着手予定年月	11)	10	9	8	
素イオン濃	目単	0	⑩ - · · 五	⑨ 〇·二九	8 四·八	を 記 載)	は二基分が一日	は八基分、	日当たりの量 	③ 三.八	② ·六三	① ○ 六二		用の季節的変動	当たりの使用時	時間間隔	開始予定年月日	事完成予定年月日令八	事着手予定年月日	① 一·一㎡ 一基	⑩一・五㎡一基	⑨ ○・九四㎡ 二基	(8) 二·四㎡ 二基	

水等 日 用 事 事 用 窒 浮 化 水 項 大 ŋ 窒 浮 化 生物化学的酸素要求量 生物化学的酸素要求量 用 当 0) 学 開 着 学 完 素 0) 素 素 遊 ん 遊 的 的 た イ 腸 日 始 成 手 時 酸 酸 季 ŋ 当 含 物 オ 含 含 物 予 予 予 素 素 た 0) ン 節 菌 要 要 ŋ 間 有 質 有 有 質 定 定 定 濃 求 使 求 0) 的 量 年 年 年 量 量 度 目 量 数 量 量 量 量 用 間 変 mg mg mg mg 単 単 月 月 月 CFU mg mg mg mg mg m³ 時 動 間 隔 日 日 日 力 類 Ĺ L L 位 日 L L L L L 位 mLL ② ∫ (11) 連続 令九・ 令八・ 令七・ し尿処理施設 一四時間 1 五. \equiv 九 通常の値 通常の: 八~八・ 六二・三 八〇〇以下 0 \bigcirc 五. 五. \equiv 三五 $\overline{\circ}$ 下旬 $\overline{\bigcirc}$ 旬 四 値 六 五. 五. ・八~八・六 最大の値 最大の値 九二・九 八〇〇以下 0 Ŧī. 0 五. 四〇 Ξ 三五 $\overline{\circ}$ $\overline{\bigcirc}$ 四 Ŧī. 状 汚 等 0) 汚 汚 使 使 使 工 工 主 構 能 処 種 値 態 染 4 0) 水 水 日 事 事 用 等 用 大 ŋ 汚水等の処理の方法 窒 浮 化 生 水 項 用 0) 当 物 学 開 完 着 素 0) 化学的酸素要求 ん 素 遊 理 的 た 要 腸 1 成 手 日 始 時 酸 季 ŋ 含 当 含 含 物 オ 予 予 予 素 た 菌 0) ン 節 有 要 間 ŋ 有 有 質 定 定 定 濃 寸 方 求 使 0) 数 量 的 年 年 量 量 度 目 量 年 量 量 量 用 間 mg **CFU** 変 mg 単 mg mg mg mg 単 m³ 時 月 月 月 L mL動 間 隔 H \mathbb{H} 日 法 造 力 式 類 L L 位 日 L L L 位 連続 令七・ 凝集剤添加膜分離活性汚泥方式 令九・三 令八・一一 F R P 製 六二〇人槽 合併処理浄化槽 八・六・六・六・ 00 一四時 六〇 0 九·三〇m <u>Fi.</u> 処理前 Ŧī. 八〇〇以下 九 蕳 通常の値 通常の 六二・三 上旬 下 八・八・六 X 処理後 \bigcirc 五. \bigcirc 五. ・二六 $\frac{1}{0}$ 八・六・八~ m 六〇 \bigcirc 処理前 <u>Tī.</u> X 五. 几 八〇〇以下 九二・九 最大の値 最大の 九 八・六 六 値 処理後 m \bigcirc \bigcirc 五. 五.

状態 汚染 等の 汚水

0)

値

令和七年八月一日

大分県報

(告示)

状態 汚染 等 の 汚水

値

汚

使

使 使 工 工 能 種

大分県知事	令和七年八月一日	に供する。	ので、施行令第五条第三項の規定により、当該届出に係る	以下「法」という。)第百十二条第一項の規定による同意を求めるための事前届出があった	条第一項の規定により、次の一のとおり漁船損害等補償法	漁船損害等補償法施行令(昭和二十七年政令第六十八号。	大分県告示第三百十九号	······································	大分県生活環境部環境保全課及び由布市役所	2 縦覧場所	令和七年八月一日から同月二十二日まで	1 縦覧期間	二 事前評価に関する書面の縦覧期間及び縦覧場所	大腸菌数 (FU/mL) 八〇〇以下	りん含有量 〒 1			5 & 化学的酸素要求量 ®/L 一五		水素イオン濃度 五・八~八	項 目単位 通常の値	当 プロ の お よ フ	一日当たりの非出水量単位通常の通常の	排 水 口 名 排水口 № 1	5 排出水の量及び汚染状態の値	大 腸 菌 数 CFU/mL 八〇〇以下 八
佐藤樹一郎 津久見市	1 発起人の	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	当該届出に係る指定漁船調書を次の二により縦覧	②を求めるための事前届出があった 令和七年八	□(昭和二十七年法律第二十八号。 に供する。	以下「施行令」という。)第五 ので、	以下「法」		漁船損害	大分県告示第三		大:	(一) 电豆体	八〇〇以下	九 三・六 2 縦			í .	一六 3 法第三	・六 五・八~八・六	最大の値	○ 三五○・○ 豊	値 最大の値 豊後高	米光	豊後高	八〇〇以下 八〇〇以下 八〇〇以下 1 発起人の 一 届出事項
見市大字千怒四千九百六十七番地の四	人の住所及び氏名	項	大分県知事 佐 藤 樹 一 郎	年八月一日		施行令第五条第三項の規定により、当該届出に係る指定漁船調書を次の二により縦覧	「法」という。)第百十二条第一項の規定による同意を求めるための事前届出があった	条第一項の規定により、次の一のとおり漁船損害等補償法(昭和二十七年法律第二十八号。	漁船損害等補償法施行令(昭和二十七年政令第六十八号。以下「施行令」という。)第五	第三百二十号		大分県漁業協同組合真玉取次店事務所	豊後高田市呉崎七百五十三番地	大分県漁業協同組合事務所プラーの開発を開発している。	为 可	令和七年八月一日から同月十五日まで	縦覧期間	芸魚岩骨等)逆覚 大分県漁業協同組合	法第百十三条第一項の申出をする漁業協同組合の名称	真玉町加入区加入区	重隆憲	Ħ	· 一定	光 和人	田	人の住所及び氏名項

				変更の概要	終点	起点	名 秋 ———————————————————————————————————
					置	位	
				路線を次のとおり変更する。	二〇号平岩松崎線ほか一路線を	計画道路中三・六・二〇号	津久見都市計画
						更に係る事項	二 都市計画の変更に係る事項
						迪道路	津久見都市計画道路
						類	都市計画の種類
				藤樹一郎	大分県知事 佐		
						日	令和七年八月一日
							することができる。
				に、知事に意見書を提出	、縦覧期間満了の日までに、	なお、津久見市の住民及び利害関係人は、	なお、津久見市の
				縦覧に供する。	第一項の規定により、次のとおり津久見都市計画道路の変更の案を縦覧に供する。	り、次のとおり津久見都	一項の規定により
				て準用する同法第十七条	(昭和四十三年法律第百号)第二十一条第二項において準用する同法第十七条	和四十三年法律第百号)	都市計画法(昭和
						二十一号	大分県告示第三百二十一号
				}	***************************************	······	{
					務所	大分県漁業協同組合津久見支店事務所	大分県漁業
						津久見市高洲町二十四番十六号	二 津久見市京
いて縦覧に供する。)	縦覧場所に備え置	省略し、変更に係る図書の縦覧場所に備え置い	(「別図」は、省			大分県漁業協同組合事務所	大分県漁業
	津久見市まちづくり課	津久見市宮本町二十番十五号 津久見	津久見市宮本			大分市府内町三丁目五番七号	○ 大分市府内
大分県土木建築部都市・まちづくり推進課	土木建築部都市・	大分市大手町三丁目一番一号 大分県	大分市大手町				2 縦覧場所
			四 縦覧場所		で	令和七年八月一日から同月十五日まで	令和七年八日
		十九日まで	令和七年八月十九日まで				1 縦覧期間
		五日から	令和七年八月五日から			の縦覧	二 指定漁船調書の縦覧
		都市計画変更の案の縦覧期間	三 都市計画変更			協同組合	大分県漁業協同組合
		別図のとおり)	(区域は、別		出をする漁業協同組合の名称	法第百十三条第一項の申出をする漁	3 法第百十三名
中里公里						人区	津久見市加入区
	久保浦	字長野	堅浦線				2加入区
浦字 一 「	津久見市大字堅	津久見市大字上青江	三・四・一一号			久	松下 芳久
-					地	津久見市大字千怒四千七百四十八番地	津久見市大京
一部幅員の変更	海グリアコン:	字ミスマ	平岩松崎線			之	神田 勝之
	聿 入見おヒメント订	津久見市大字上青江	三・六・二〇号		地	津久見市大字四浦六千八百五十四番地	津久見市大宮
						光太郎	松下 光士

大分県報 (告示)